

歳時記

## ジワリ！「ちよい飲み」

～新たなライバル～

3月の繁盛NAVIには多勢のご参加ありがとうございました。お陰様で無事に終了することができました。今回の熱烈中華食堂 日高屋の創業者である神田正会長の講演には、特に大きな反響がありました。『今までの経験や創業当時の苦労話など実に味のある、そして中身の濃い講演を聞かせてもらいました。』という声が多く聞かれました。仕事への情熱やスタッフに対する熱い感情に多くの方が共感されたようです。

短時間で軽くお酒を飲む「ちよい飲み」のできる

ファストフード店やファミリレストランが増え、「食事のついでに気軽に飲みたい」という消費者の需要を取り込もうと、外食チェーンは居酒屋並みのメニューをそろえるなど知恵を絞っています。まさにその筆頭が「ちよい飲み」の王様」と言われている「日高屋」なのです。

その成功には、会社員などの宴会が減っていることが背景にあるとみられ、2013年度の居酒屋・ビアホールの市場規模は1兆96億円で、20年前に比べ30・7%減少しています。一方、食事提供が主体のファミレスやファストフード店で飲酒する人は増えています。

特に滞在時間60分以内の「ちよい飲み」が増えているのです。

知っていましたか？



牛丼の「吉野家」では夕方以降、牛すじ煮込みやがんもをはじめ、200円～300円前後のつまみを提供しています。現在は約70店舗でのサービスですが、市街地のビルに入居する約320店舗での実施を目指しているそうです。

ファミレスの中華レストラン「バーミヤン」は、焼酎のボトルキープもあり、ドリンクバーを頼めば中国茶やソフトドリンクと割って好みのカクテルを作ることができます。また今年の2月から、2品で税抜き500円の小皿メニューや、平日夕方に生ビールが2杯目から200円（税抜き）になるサービスを始めました。

イタリア料理の「サイゼリヤ」では、全店でイタリアワイン（グラスで税込み100円）と、熟成生ハムプロシュート（税込み399円）など、ワインに合うつまみを300円前後で提供しています。

ハンバーガーチェーン「フレッシュネスバーガー」では今年から午後5時以降、生ハムの食べ放題1時間500円、ワインの飲み放題同980円（いずれも税抜き）などのメニューを展開し始めました。関係者は「居酒屋より、ファミレスの方が抵抗感なく入れるのでは」とみています。「ちよい飲み」はあらゆる世代に広がっているようです。

あなたの店もいつの間にか同業ではなく、違う業態の店からお客様を奪われているのかもしれない。

コンビニと外食のコーヒー戦争と同じく、垣根を越えた競争が繰り広げられています。

神田正氏（ハイデイ日高会長）は

『ライバルは時代の変化』

と結んでいました。